



第3回

日本クアオルト協議会大会 inおおだ

～全国各地から150人が参加し盛大に開催～

りゅうげんじまぶ
龍源寺間歩を活用した坑道療法を体験。サザエの貝殻を使った「ら灯」を頼りに坑内へ。明暗差などが自律神経を刺激し、ストレス軽減効果が得られます。



大森プログラム

温泉街から温泉津港を往復する早朝ウォーク。町並みや文化財など、スポットごとに説明を聞きながら散策。朝食前の適度な運動がもたらす健康効果を体験。



温泉津プログラム

鳴砂の浜「琴ヶ浜」をポールを使ってウォーキング。砂浜の感触を楽しんだり、冷たい海水や潮風の刺激を感じたりすることで得られる健康効果を体験。



琴ヶ浜プログラム

自然歩道を歩きながらの森林浴と芝生に寝転んでのストレッチを組み合わせたプログラム。紅葉に彩られた自然を堪能し、心とからだをリフレッシュしました。



三瓶プログラム

大田市が加盟する「日本クアオルト協議会」の第3回国大会が11月9日から3日間、当市を会場に開催されました。この協議会は、加盟団体が連携し、自然・文化・温泉などの地域の資源を活用して、滞在型の健康保養地づくりを推進することを目的に平成26年度に発足。「健康まちづくり」に取り組み当市は、平成27年度から加盟しています。

「世界遺産・山・海 地域資源を活かした健康のまちづくり」をテーマとした今大会には、加盟8自治体をはじめ全国各地から約150人が参加。市内4地区で、健康プログラムを体験しました。各地区の資源を活用したプログラムが、参加者の皆さんから高い評価を得ました。



大田市では、「市民の健康づくりとその環境づくり」と「健康と観光を組み合わせた保養地づくり」を一体的に推進する「健康まちづくり」を施策の柱に位置づけ取り組んでいます。今年度、その指針となる「健康まちづくり推進方針」を策定し、各種の計画にこの推進方針の内容を反映するとともに、「健康まちづくり」の視点を持って事業を実施していきます。

「健康まちづくり」を推進